

理科 担当教員：池尾佳夏、迫田玲奈、新田倭也

使用する教科書 理科の世界 大日本図書
副教材 理科便覧(1,2,3年) 理科の完全学習(1, 2, 3年)
確認から発展へ(カラー小テスト)(1, 2年)
3年間の総まとめ問題集(3年) 模擬トレ5理科 東京(3年)
ドリルパーク

【学習の目標と学習方法】

- ・自然の事物・現象に進んでかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てる。
- ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。

<p>授業について ※授業開始前には、持ち物をそろえ、集中できるように心の準備をしましょう。 ※授業は教科書を中心に、資料集を参考資料として使いながら進めます。 ※実験や観察を通して、自然の法則性などを見出ししていきます。 ※自ら考え答えを導き出す過程を大切にしよう。 ※意見を出し合うことで、ともに理解を深めることができます。考えや疑問を積極的に発信しましょう。 ※疑問に思った箇所は、その日のうちに先生に積極的に質問して疑問点等を解決しよう。 (休憩時間や放課後の質問、大歓迎です) ※2・3学年の理科は2人の先生と一緒に教えます。 (テストも2種類あります)。</p>	<p>家庭学習について ※宿題は必ずやりましょう。 ※ノート、プリントの見返しをして不明な点を解決し、さらに知りたいことなどを調べてみましょう。 ※ドリルパークを用いて知識の定着を図りましょう。 ※3年生の総まとめ問題集は家庭学習で自分で進めていきます。授業で学習した箇所の問題を解いて、復習をしましょう。 ・試験前はこのような取り組みよう ※実験や観察で、どんな結果が出て、どのように観察できたかをまとめましょう。 ※教科書やノートを使って、語句や法則を復習しましょう。 ※ドリルパークを用いて復習をしよう。 ※問題プリントをもう一度解いてみましょう。 特に、1回目に間違えた箇所は見直しをしましょう。</p>
--	--

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見直しをもって、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価資料	・実験の基本的な操作習得 ・実験や観察における報告、観察記録 ・テストの知識・技能に関する設問への内容 ・提出された課題の内容 など	・実験、観察における考察 ・授業での発言内容 ・レポートの内容・表現 ・テストの思考・判断・表現に関する設問への内容 など	・授業や実験の発言等の活動状況 ・授業の振り返り及び感想 ・ドリルパークへの取り組み状況 ・課題に対する取り組み状況 など

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	1. 生物の世界 (身近な生物、植物のなかま、動物のなかま) (25)				2. 物質のすがた (いろいろな物質、気体、状態変化、水溶液) (28)				3. 身近な物理現象 (光の性質、音の性質、力のはたらき) (27)			4. 大地の変化 (火山、地震、地層、大地の変動) (25)

計105h

2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	1. 化学変化と原子・分子 (物質の成り立ち、いろいろな化学変化、化学変化と熱の出入り、化学変化と物質の質量) (40)						4. 天気とその変化 (気象観測と雲のできかた、前線とそのまわりの天気変化水蒸気の変化、大気の動きと日本の天気) (30)					
2. 生物の体のつくりとはたらき SPP (生物をつくる細胞、植物の体のつくりとはたらき、動物の体のつくりとはたらき) (35)						3. 電流とその利用 (電流と回路、電流と磁界、電流の正体) (35)						

計70h

計70h

3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	1. 運動とエネルギー (力の合成と分解、水中に加わる力、力のはたらき、物体の運動、仕事とエネルギー) (35)						5. 地球と宇宙 (天体の動き、太陽と月、太陽系と銀河) (25)					
2. 生命のつながり (生物の成長とふえ方、遺伝の規則性と遺伝子、生物の多様性と進化) (25)						4. 化学変化とイオン (水溶液とイオン、化学変化と電池、酸・鹼とイオン) (30)						
						6. 地球と明るい未来のために (科学技術と人間) (10)						
						3. 自然界のつながり (生物どうしのつながり、自然界の循環、自然環境と人間を含む) (15)						

計70h

計70h